

② 第2学年 年間指導計画（B校の例）（資料G-2）

本校の実態		・本校は、緑の多い恵まれた環境にある小規模校である古くからの住宅地と新興住宅地が混在している地域であり、保護					
2学年における英語の目標		第1学年の学習内容を繰り返し学習し、基礎の定着を図るとともに、初歩的な英語を聞いたり、自分の					
月	課	題 材	目 標	言 語 活 動		言 語 材 料 [語、連語、及び慣用表現※]	
				◎文法事項を用いての活動 ☆言語の使用場面 a: 特有の表現が良く使われる場面 b: 生徒の身近な暮らしにかかわる場面 ★言語の働き（主なもの） a: コミュニケーションを円滑にする b: 気持ちを伝える    c: 情報を伝える d: 考えや意図を伝える e: 相手の行動を促す	☆ ★		
9	レ ッ ス ン 4  8 時 間	Flight to the U.K. 「飛行機でイギリスへ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛行機の機内放送の内容を聞き、内容が理解することができる。</li> <li>未来表現 will や be going to ~ を用いた文を理解し、肯定文、否定文及び疑問文とその答え方が適切に表現することができる。</li> <li>will や be going to ~ を用いて、自分の予定について書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機内放送の内容を正しく聞き取る。</li> <li>◎ Let's talk "My スケジュール!" will を用いて、自分の週末のスケジュールを紹介し合う。</li> <li>◎ 「私の夏休み」(英作文) 夏休みについて、未来形を用いて書く。</li> </ul>	b  b  b	c,e d  a  b	<ul style="list-style-type: none"> <li>will を用いた未来表現（単純未来、意志未来）の肯定文、否定文、疑問文とその答え方</li> <li>be going to ~ を用いた未来表現の肯定文、否定文、疑問文とその答え方</li> <li>※外国旅行に必要な英語表現 Welcome aboard ~ Ladies and gentlemen. landing card(s) ※連語 in front of, pass out</li> </ul>
<p>授業時数の増加により、6時間扱いの実施してきた課の内容を8時間で扱うことが可能になった。このことにより、言語活動の一層の充実が図れるようになった。</p> <p>＜授業時数2時間が増えた場合の活動例＞ ・「私の夏休み」について、原稿を書く→原稿をもとに、発表会を行う。</p>							
10	レ ッ ス ン 5  8 時 間	The 3Rs 「私たちにできる3つのR」	<ul style="list-style-type: none"> <li>動名詞の用法を身近なことを表現することができる。</li> <li>to 不定詞の名詞的用法を理解し、お互いのしたいこと、好きなことについて表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>とについて友達と会話することができる。</li> <li>◎ to 不定詞（名詞的用法）を用いて、自分の将来の夢について友達と会話することができる。</li> </ul>	b  b	a,d  a,d	<ul style="list-style-type: none"> <li>in fact, without ~ ing I get it. a little, ~ can't we?</li> <li>to 不定詞 ①名詞的用法 ②副詞的用法（目的） ③形容詞的用法</li> </ul>
<p>身近な環境問題の一つであるゴミ問題について、ドイツの状況を例として取り上げ、自分たちにできる3Rについて知り、自分たちにできることは何かについて簡単な英語を用いて、意見を発表し合うことができる。</p>							
<p>学習指導要領の＜言語活動の取扱い＞の項目で、次の内容が、新しく加えられた。 〔言語の働きの例〕 a コミュニケーションを円滑にする ・呼び掛ける ・相づちをうつ ・聞き直す ・繰り返す 等 ＜例文＞ Sorry. Excuse me? Pardon me? Oh, I see. Really?</p>							
11	レ ッ ス ン 6  8 時 間	World Heritage Sites 「世界遺産」	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産について、課に登場する人物の発表を聞いてその内容を理解することができる。</li> <li>形容詞の比較級、最上級の表現や、形容詞の前に、more や most を置く比較級、最上級の表現を理解し、お互いに簡単な身のまわりのことについて表現することができる。</li> <li>興味のある世界遺産について調べたことを簡単な英語で紹介することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎比較級や最上級の基本的な表現を用いて自分のことや友達のことについて互いに紹介し合う。</li> <li>◎「自分の好きな世界遺産を紹介しよう！」自分の興味ある世界遺産について調べたことを、比較級、最上級の表現を使いながら、簡単な英語で紹介する。</li> </ul>	b  b  b	c  a,b  a,b c	<ul style="list-style-type: none"> <li>形容詞の比較変化 ①原級に -er, -est の付くもの ② more, most の加わるもの</li> <li>※比較に関してよく使われる慣用表現 ~ times higher than ....</li> <li>※連語 look like ~ between ~ and .... one ~ and the other .. be deep in ~ one ~ and the other....</li> </ul>

③ 第3学年 年間指導計画 (C校の例) (資料G-3)

本校の実態		本校は市の中心に位置する中規模校である。駅前商店街や住宅地を通学地域に持ち古くから地域の中心地である					
第3学年における英語の目標		4技能を有機的に関連づける活動を通し、自分の思いや考えを表現できる。卒業後の生涯にわたる外国語学					
月	課(時)	題材	目標	言語活動		言語材料	
				☆	★	語、連語、 *慣用表現	
4	ウォームアップ (4)	Let's Go Together!	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学年までの既習事項の説明や質問の表現を用いて海外旅行の計画の立案や予約をすることができる。</li> <li>入国審査での会話をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外旅行をしよう！</li> <li>訪れたい場所を伝え合う。 【聞→話】</li> <li>自己紹介の表現を用い、インターネット画面でホテルを予約し、電話で確認する。 【書→読→聞→話】</li> <li>旅行者や審査官となり入国審査をする。 【読→聞→話】</li> </ul>	a, a, a, a	d, c, c, a	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生までの復習</li> <li>Where do you want to go?</li> <li>What do you want to do?</li> <li>May I ask your name?</li> <li>*What's the purpose of your visit?</li> <li>*Have a nice day.</li> </ul>
6	プログラム3 (9)	Don't ask Me That Question!	<ul style="list-style-type: none"> <li>受け身の文構造を理解することができる。</li> <li>how to 不定詞の表現を用いて身近なことを表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の言語を知ろう！ 【聞→話→書】</li> <li>世界の国々でどんな言語が話されているか予測を立て、意見を発表し合う。</li> <li>聞き手の情報をまとめる。</li> <li>道案内をしよう！ 【聞→話】</li> <li>how to 不定詞の表現を用いて、道案内の会話をする。</li> </ul>	b, b, a	d, c, b	<ul style="list-style-type: none"> <li>受け身の用法</li> <li>* these days</li> <li>I think English and French are spoken in Canada.</li> <li>道案内の表現</li> <li>Will you tell me how to get to ~?</li> </ul>
9	レッツ・コミュニケーション (4)	Let's Communicate	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動について対話をすることができる。</li> <li>ボランティア活動の経験スピーチ原稿にまとめることができる。</li> <li>ボランティア活動についてスピーチをすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動の経験について意</li> <li>対話内容を参考にして、ボランティア活動での出来事や体験したことなどについての自分の考えを書く。</li> <li>ボランティア活動についてまとめた原稿をもとに、1分間程度のスピーチをする。</li> </ul>	b, b, b	a, d, c, d	<ul style="list-style-type: none"> <li>Have you ever helped anyone?</li> <li>When did you do it?</li> <li>How did you help?</li> <li>How did you feel?</li> <li>*文と文をつなげる表現</li> <li>When ~, ....</li> <li>~ because ....</li> <li>I think ~.</li> <li>I wonder ~.</li> <li>paraphrase の方法</li> </ul>
10	プログラム6 (8)	Ok! I saw Music	<ul style="list-style-type: none"> <li>後置修飾 (現在分詞) を使った文章を聞き取り説明の仕方を理解することができる。</li> <li>後置修飾 (過去分詞) を使った文章を読み取り、その内容について感想や意見を述べるよう理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文で説明される人物や物について聞き取る。 【聞】</li> <li>いっばい読んじゃおう！ 【読→書→聞→話】</li> </ul>	b, b	c, d	<ul style="list-style-type: none"> <li>後置修飾 (現在分詞、過去分詞) の用法</li> <li>接触節の用法</li> <li>*What do you mean by ~?</li> <li>*mix ~ with ...</li> </ul>

授業時数の増加により、従来は6時間扱いで実施してきた課を9時間で行うことが可能になった。このことにより、4技能を関連付けた活動や既習事項を発展させた活動を行うことができるようになった。

増えた2時間で辞書などを使い、自分の考えをまとめ、発表することが可能になった。

4技能を関連付けた活動例 (毎時間取り組む①②の活動を踏まえて③④⑤へ)

- Small Talk で Wh 疑問文の応答を練習する。【聞→話】
- 教科書の内容について QA を作り問題を出し合う。【読→書→話→聞】
- ALT と JTE が協力して作成した後置修飾や接触節の含まれる英文を多読する。【読】
- ③で読んだまとまりのある英文について質問記事を書く。【書】
- ④の内容について質問し合う。【聞→話】